

芦屋市のごみの課題と解決方法

現状の振り返り(第1回審議会振り返り)

ごみのことを自身の問題として捉えることの重要性の再認識

令和元年に排ガス中の水銀濃度が基準値を超えて焼却炉が停止



市民・事業者向けに、燃やすごみのごみ出し抑制等のお願い



パッカー車の展開検査を実施(水銀を含むごみの混入を防ぐ)



+ 燃やすごみ総量の目標値の達成



- 一部の分別の不徹底

令和2年9月の家庭系ごみ展開検査状況①

搬入不適物が混入

展開検査結果

①正味重量 1,720Kg

②搬入不適物 90kg前後

段ボール(5kg)、新聞紙、雑誌、紙類(72kg)、ペットボトル(6kg)、缶(少量)、ビン(少量)、
その他不燃(4kg)、土、電池



令和2年9月の家庭系ごみ展開検査の状況②

紙類だけでなく、缶，土，電池なども混入



課題解決の方法

課題

1人1人がごみに対して自分自身の問題として自覚を持つ

対策

指定ごみ袋を導入し、1人1人がごみを捨てるときに意識を持つ

●現芦屋市一般廃棄物処理基本計画においても有料化の検討(指定ごみ袋)は方策として記載

⑭ 有料化の検討

概要	本方策は、生活系ごみを排出する際のごみ袋毎に一定の手数料を徴収する有料化について、排出量の推移や方策の実施状況により、導入を検討するものです。		
関連	(3) ⑬ 近隣の状況に合わせた有料化の検討		
分類	発生抑制(リデュース), 再使用(リユース), 再生利用(リサイクル), 排出者負担の公平性		
効果	設定する料金体系により変動します。		
	市民	事業者	市(行政)
	有料化の導入について廃棄物減量等推進審議会等をとおして検討に参加します。		本市の減量化・再資源化状況を踏まえて、有料化の導入について検討します。
	○	—	◎

指定ごみ袋導入の目的

ごみの可視化による意識の啓発

・分別意識の向上

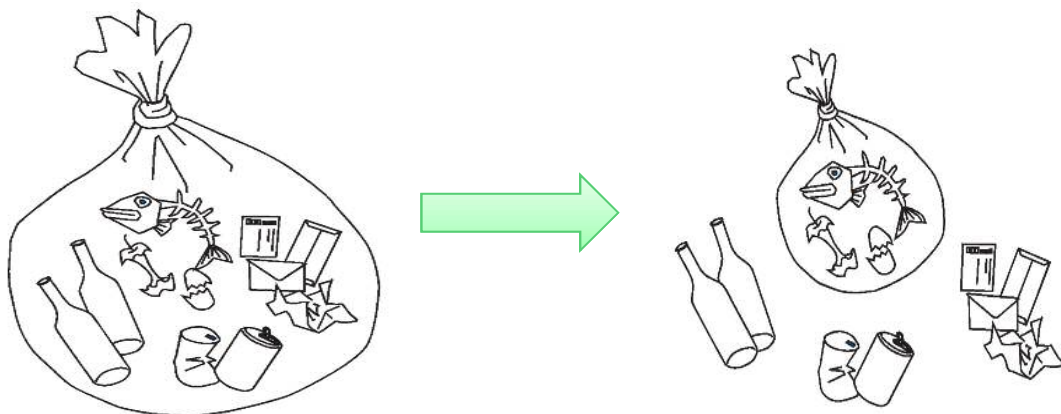
・減量意識の向上

・マナー意識の向上

指定ごみ袋を導入することで、
普段から意識せざる得ない環境をつくる

可視化による抑止効果

分別・減量のイメージ



現在は、黒いごみ袋等でごみ出しできるため、中身が分からない。
指定ごみ袋を導入することで、
⇒正しいごみ分別の促進
⇒燃やすごみの減量
燃やさないごみ(資源ごみ)の増加

指定ごみ袋制①

指定ごみ袋制の概要・メリット

指定ごみ袋制の概要

- ごみ排出に用いる袋を指定すること。
- これまで芦屋市では、市販のごみ袋(黒、青)や小売店舗等で配布されるレジ袋などを用いてごみを出すことができたが、指定袋制になると、指定された袋以外でごみを排出することができなくなる。

指定ごみ袋制のメリット

<メリット※>

- 中身の見える袋に統一してごみの分別の徹底を図る。
- ごみ減量・リサイクルのシンボルとして位置づけ、その促進を図る。
- 家庭系ごみと事業系ごみの区分の明確化を図る。
- 収集・処理作業中の事故を防止する。

※メリットは、尼崎市の「導入の目的」より
https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/kurashi/gomi/manner/036_sitebukuro.html

(他都市の指定袋)



指定袋の例
(神戸市)



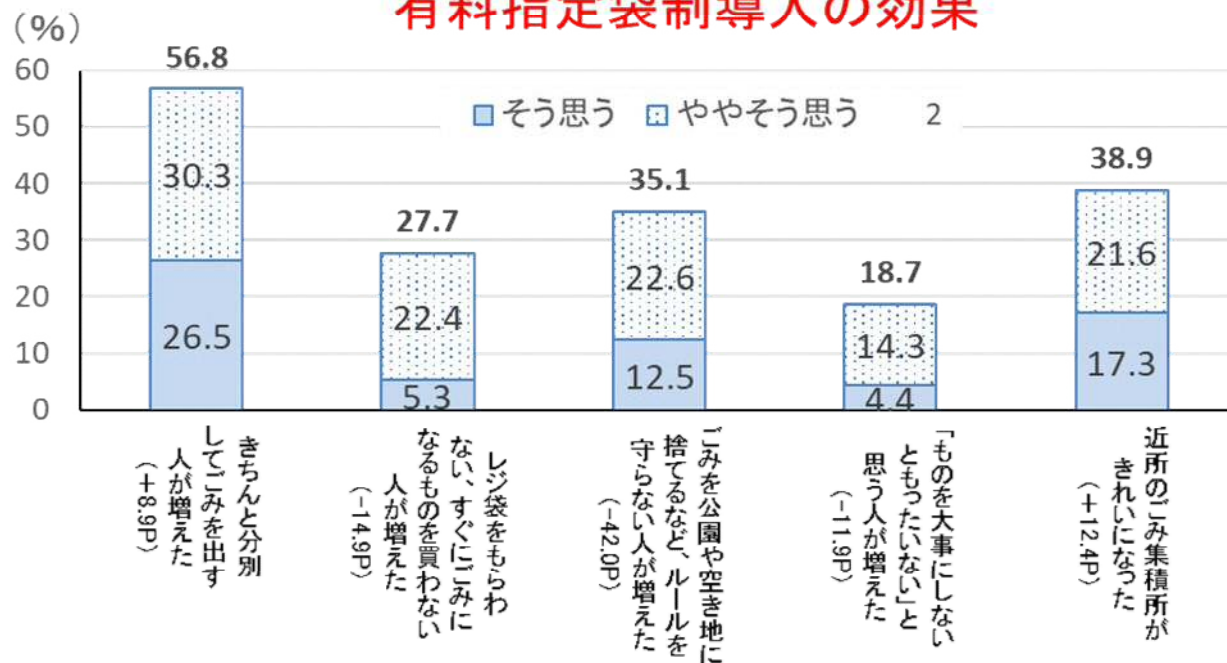
集積所の排出状況
(有料指定袋・京都市)

指定ごみ袋制②

指定ごみ袋の一般的な効果

- 平成19年10月に家庭系ごみに有料指定袋製を導入した京都市で、指定袋を導入した効果をアンケートで尋ねている。(アンケートは導入前後に実施)
- 比較的評価する割合が高かったのは、「きちんと分別して出す人が増えた」「近所のごみ集積所がきれいになった」であった。

有料指定袋導入の効果



- 有料指定袋導入前(H19.8)と導入後(H20.1~2)の2回調査を行った。
- 選択肢の後ろの数値は、第1回調査結果からの変動である(増えた場合が+)

※「有料指定袋導入前後の市民アンケート調査結果」(京都市)より作成

指定ごみ袋制③

指定ごみ袋の種類

種類	説明	市民・事業者の負担
色指定ごみ袋	透明・半透明等、色を指定したごみ袋	ごみ袋代
〇〇市指定ごみ袋	芦屋市指定ごみ袋として該当の市のみで利用することができるごみ袋	ごみ袋代
料金上乘せ指定ごみ袋	指定ごみ袋のごみ袋代に、処理料金(芦屋市の歳入)が加算されたごみ袋	ごみ袋代 <u>+処理料金</u>

色指定ごみ袋や〇〇市指定ごみ袋は、現在も黒いごみ袋等を買われている市民・事業者にとっては、購入するごみ袋の種類が変更になります。

(ごみ袋代は市場価格であり店舗により異なる。)

料金上乘せ指定ごみ袋が、世間一般に**有料化**といわれる施策になります。

指定ごみ袋制④

種類別の一般的なメリット・デメリット

種類	メリット	デメリット
色指定ごみ袋	<ul style="list-style-type: none"> ・市民負担が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量や意識向上に資する効果は限定的 ・透明, 半透明の概念が人により異なり指定しにくい
〇〇市指定ごみ袋	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量や分別排出への意識も比較的大きい 	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料費の変動影響や市況による供給リスクがある
料金上乗せ指定ごみ袋	<ul style="list-style-type: none"> ・収入をごみ関連費用に充当することができる ・ごみ量に袋代が比例するため、ごみ減量効果が大きい ・ごみが少ない人が費用が少なくなるため、費用負担の公平感がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民・事業者負担が大きい ・原材料費の変動や市況による供給リスクがある

兵庫県内の燃やすごみの指定ごみ袋導入状況

兵庫県内41市町中，39市町がどの種類かの指定ごみ袋を導入

種類	該当市	市町数
色指定ごみ袋	明石市，伊丹市，赤穂市，宝塚市，高砂市，川西市，小野市，猪名川町，播磨町	9市町
〇〇市指定ごみ袋	神戸市，姫路市，尼崎市，加古川市（令和3年6月～），三木市，三田市，たつの市，稲美町，市川町，福崎町，神河町，太子町	12市町
料金上乘せ（有料化）指定ごみ袋	洲本市，相生市，豊岡市，西脇市，加西市，丹波篠山市，養父市，丹波市，南あわじ市，朝来市，淡路市，宍粟市，加東市，多可町，上郡町，佐用町，香美町，新温泉町	18市町
指定なし	西宮市，芦屋市	2市

兵庫県内でごみ袋に指定がないのは，西宮市と芦屋市のみ
西宮市は導入検討中

指定ごみ袋の導入パターン

指定ごみ袋には様々な導入パターンがある

指定ごみ袋 導入パターン	家庭系ごみ			
	色指定	〇〇市指定	料金上乗せ 指定	指定袋なし
色指定	①	⑤	⑨	⑬
〇〇市指定	②	⑥	⑩	⑭
料金上乗せ 指定	③	⑦	⑪	⑮
指定袋なし	④	⑧	⑫	⑯

事業系
ごみ

指定ごみ袋の導入パターン例①

品目により料金上乘せ指定ごみ袋と〇〇市指定ごみ袋が混合する

例 長野市

区分		ごみ処理手数料がかかります (有料)						ごみ処理手数料はかかりません	
		可燃ごみ				不燃ごみ		プラスチック製 容器包装	
指定袋	袋の種類・ 大きさ	特大(40ℓ用) 	大(30ℓ用) 	小(20ℓ用) 	特小(10ℓ用) 	大(30ℓ用) 	小(20ℓ用) 	大(30ℓ用) 	小(20ℓ用) 
	手数料 (1枚あたり)円)	40円/枚	30円/枚	20円/枚	10円/枚	30円/枚	20円/枚	手数料はかかりません	
	販売価格 (1セットの価格) 1セット=10枚入 「袋の代金」は、販売 店により異なります	「袋の代金」 + ごみ処理手数料 400円	「袋の代金」 + ごみ処理手数料 300円	「袋の代金」 + ごみ処理手数料 200円	「袋の代金」 + ごみ処理手数料 100円	「袋の代金」 + ごみ処理手数料 300円	「袋の代金」 + ごみ処理手数料 200円	「袋の代金」のみ	

- ・品目により料金上乘せ指定ごみ袋, 〇〇市指定ごみ袋の混合
- ・長野市はビン・缶はコンテナ収集

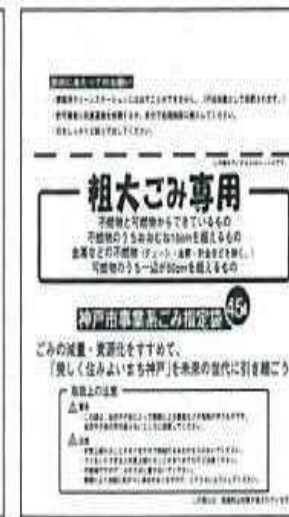
指定ごみ袋の導入パターン例②

家庭系ごみと事業系ごみでそれぞれ指定ごみ袋を導入する

例 神戸市家庭系



例 神戸市事業系



事業系指定ごみ袋の料金



10枚/組 (税込)	可燃ごみ	資源ごみ	粗大(不燃)ごみ
30L袋	570円	190円	930円
45L袋	840円	270円	1,380円
70L袋	1,310円	420円	2,150円
90L袋	1,690円	-	-

指定ごみ袋の導入パターン③

指定ごみ袋の活用方法を検討する

ごみ袋として使える北本市指定レジ袋

レジ袋の有料化に合わせて「ごみにならないレジ袋」として「北本市指定レジ袋」を作成しました。レジ袋として使用した後、「もやせるごみ袋」として利用できます。市内協力店舗で順次導入を開始します。マイバッグの利用と併せて、プラスチックごみの削減にご協力ください。

7月下旬から順次販売予定です

北本市指定レジ袋



市内協力店舗一覧

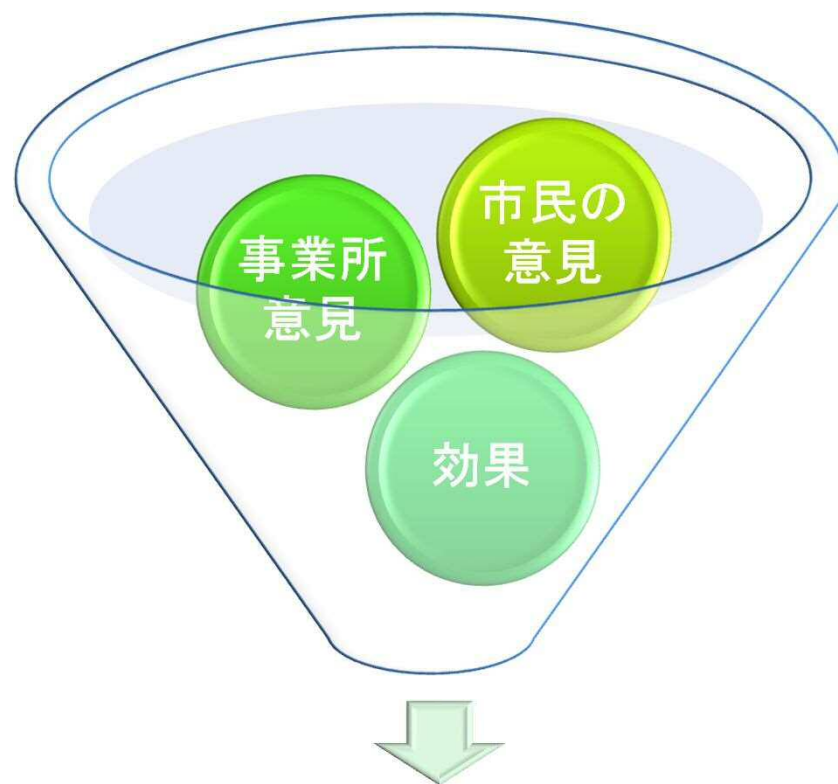
	事業所名	住所	電話番号
1	酒太郎 北本店	北本1丁目155番地	593-4471
2	伊藤商店	中央3-71-6	591-2306
3	まるよし商店	西高尾3-1	592-5231
4	有限会社 荒井商事	北本2丁目257番地	591-2066
5	鈴木商店	石戸宿5-52	592-1155
6	酒巻酒店	下石戸下516-26	592-4426
7	デイリーヤマザキ北本駅前店	中央2-172	592-0557
8	有限会社 山徳	下石戸5-320	591-0129
9	小林酒店	西高尾1-40	591-2443
10	ユアーズながしま	西高尾3-154-2	591-8778
11	三宮酒店	中央4-190	591-4297
12	Yショップひたちや	西高尾7-63	591-2447
13	内田屋酒店	中丸5-296	591-0902
14	マイショップやまぎし	荒井2-457	591-2983
15	株式会社 あらい屋	北本3-3	591-2228
16	しなのや酒店	東間4-97	542-3057
17	マイショップたけい	東間4-137-2	541-4542
18	セブンイレブン北本古市場2丁目店	古市場2-19-1	593-5666
19	和菓子司やまもと	東間2-3	591-2136
20	オシャレの店おおはた	北本1-72	591-4315
21	株式会社 丸木屋	二ツ家3-110	591-5283
22	株式会社 とりせん 北本店	北中丸1-75-1	590-5808
23	関根智税理士事務所	西高尾1-146	592-1181
24	株式会社 インフォランド	北本1-91	592-2768
25	鳥越	中央3-73-1	591-8184
26	鈴木商店	北本3-13	591-2127

市内の事業者との協力の検討

埼玉県北本市HPより抜粋

指定ごみ袋検討の流れ

多くの市民・事業所を巻き込んだ指定ごみ袋の導入検討



芦屋市指定ごみ袋の導入検討

①令和2年12月1日広報
指定ごみ袋の導入を検討しています
という周知



②令和3年2月(予定)
市民・事業者アンケート(意識調査)の
実施



③令和3年4月(予定)
アンケート結果・他市調査等を踏まえ
指定ごみ袋導入検討

幅広い意見の募集 ⇔ 啓発効果

検討内容

指定ごみ袋導入是非の検討

導入の是非

指定ごみ袋の種類

色指定

〇〇市指定

料金上乘せ指定

指定ごみ袋の範囲

家庭系

事業系

指定ごみ袋の対象

燃やすごみ

燃やさないごみ

指定ごみ袋の数

1種類

数種類

導入の検討材料にするために、市民・事業者向けにアンケート(意識調査)を行う

市民・事業者向け意識調査

指定ごみ袋導入是非の検討等の資料とする

目的

- 指定ごみ袋導入是非の検討をするために、市民・事業者の意識・実態を調査する

手法

- ランダムで抽出した世帯に文書送付
- WEBでも実施できるようにアンケートサイトの作成を検討(予定)

期間

- 12月1日号広報で意識調査をすることを告知
- 実施期間は令和3年2月1日～2月末日(予定)

意識調査内容

- 審議会, 審議会の分科会, 推進本部等で検討

その他

- 意識調査をすることが啓発となるようにする

ごみ処理基本計画への反映

ごみ処理基本計画の記載必要事項は決められている

第1章 一般廃棄物処理計画

1. 一般廃棄物処理計画の概要
2. 一般廃棄物処理計画の点検、評価、見直し
3. 他の計画等との関係
4. 関係目標・指標等

第2章 ごみ処理基本計画

1. 基本的事項

- (1) ごみ処理基本計画の位置づけ
- (2) 施設の有効活用及び広域的な取組の推進

2. 策定に当たって整理すべき事項

- (1) 市町村の概況
- (2) ごみ処理の現況及び課題
- (3) ごみ処理行政の動向
- (4) 計画策定の基本的考え方

3. ごみ処理基本計画の策定

- (1) ごみの発生量及び処理量の見込み
- (2) ごみの排出の抑制のための方策に関する事項
- (3) 分別して収集するものとしたごみの種類及び分別の区分
- (4) ごみの適正な処理及びこれを実施する者に関する基本的事項
- (5) ごみの処理施設の整備に関する事項
- (6) その他ごみの処理に関し必要な事項

4. 計画策定に当たっての留意事項

指定ごみ袋の導入
が大きく影響



指定ごみ袋導入の
事前検討が必要

ごみ処理基本計画策定指針(環境省)